

● **社会福祉法人 d b VERSION:10.207**

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

◆ 出力

➤ 比較・推移表

- ①「3-4 期間貸借推移表」「3-5 期間損益推移表」を出力する際、“決算月”の金額に“決修月”の金額を含めて表示していたので、“決算月”と“決修月”の金額にわけて表示できるように「決修月を単独表示する」にチェックを付けられるように改良しました。

◆ 決算

➤ 勘定科目内訳書

- ・データインポート・エクスポートについて、平成 31 年 4 月 1 日終了事業年度分（記載内容の簡素化）の様式に対応しました。

◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**社会福祉法人 d b (VERSION:10.207) の変更点**”を参照してください。

❗ **注意**

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

社会福祉法人 d b (VERSION:10.207) の変更点

改正

I. 決算

1) 決算書

①F6 項目登録／計算注記

- ・計算書類に対する注記の文言を追加しました。

*厚生労働省令第157号（社会福祉法人会計基準の一部を改正する省令）／令和3年4月1日以後開始会計年度適用分による変更です。

*「15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け」を「14. 重要な後発事象」の下に追加しました。

この位置に追加される条件は「14.」が初期値の文言であることとしています。

初期値の文言でない場合や「14.」を削除している場合は、最下行へ追加されますがCtrl+↑↓で入替が可能です。

*注記原本は全マスター共通のため、対応プログラム起動後は、マスターの年度や法人全体か拠点区別かに関わらず当該注記が追加されます。不要の場合は転送対象外や削除を行ってください。

注記原本

<input type="checkbox"/> 計算書類に対する注記
<input type="checkbox"/> 1. 継続事業の前提に関する注記
<input type="checkbox"/> 2. 重要な会計方針
<input type="checkbox"/> 3. 重要な会計方針の変更
<input type="checkbox"/> 4. ○○○採用する退職給付制度
<input type="checkbox"/> 5. ○○○
<input type="checkbox"/> 6. 基本財産の増減の内容及び金額
<input type="checkbox"/> 7. 基本金又は固定資産の売却若しくは処分に係る国庫補助金等特別積立金の取崩し
<input type="checkbox"/> 8. 担保に供している資産
<input type="checkbox"/> 9. 有形固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高
<input type="checkbox"/> 10. 債権額、徴収不能引当金の当期末残高、債権の当期末残高
<input type="checkbox"/> 11. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益
<input type="checkbox"/> 12. 関連当事者との取引の内容
<input type="checkbox"/> 13. 重要な偶発債務
<input type="checkbox"/> 14. 重要な後発事象
<input type="checkbox"/> 15. 合併及び事業の譲渡若しくは事業の譲受け
<input type="checkbox"/> 16. その他社会福祉法人の資金収支及び純資産の増減の状況並びに資産、負債及び

追加(Ins) 削除(Del) 編集(F4) 選択追加(F7) 転送(F8)

改良

I. 出力

1) 総勘定元帳

部門元帳

① 合計部門の元帳を出力できるようにしました。

- ▶ 『社会福祉法人会計基準の運用上の留意事項』に記載されている、拠点区分単位の作成が求められていることへの対応です。
- ▶ 部門の指定をパターン登録の形式へ変更しました。
- ▶ すべての元帳形式で合計部門の元帳を出力できるようにしています。
- ▶ 本改良は社会福祉法人 db のみの対応です。他業種は従前の内容を変更していません。

(1) 部門指定および出力

《出力部門指定》

- * 従前の明細部門のみの指定から合計部門を含めた指定に変え、出力パターンを登録できるようにしました（最大 20 個）。
- * 出力部門指定ダイアログ左側に【出力対象選択】、右側に【部門出力順】を表示します。
- * 【出力対象選択】の部門チェックと【部門出力順】の出力チェックは連動します。
- * 【部門出力順】は出力選択に関わらずすべての部門を表示し、チェックを付けた部門をその順で出力します。
- * 合計部門にチェックを付けると、その合計部門に属する各部門及びその合計部門が属する各合計部門のチェックボックスはグレーで選択できなくなります。
 - ・例① 総合計部門を指定した場合
「100：A 拠点」「200：B 拠点」「300：C 拠点」、及び各拠点に属する明細部門の選択が無効となる。
 - ・例② 「100：A 拠点」を指定した場合
A 拠点に属する明細部門及び総合計部門の選択が無効となる。
- * 明細部門にチェックを付けると、その明細部門が属する合計部門のチェックボックスはグレーで選択できなくなります。
 - ・例③ 「1：サービス A 1」を指定した場合
サービス A 1 が属する「100：A 拠点」及び総合計部門の選択が無効となる。
- * 同階層の部門同士は複数指定できます。
- * チェックボックスの初期値及び保存形式を変更しています。従前プログラムの初期値は ON で指定は業務終了後に解除されていました。一方、対応プログラムの初期値は OFF となります。マスターを起動した初回のみチェック操作が必要ですが、以後は業務終了後も保持されます。なお、対応プログラム起動後に部門を追加した場合も、出力前に手動でチェックしてください。

部門	部門名称	出力
9999	総合計	<input type="checkbox"/>
100	A 拠点	<input type="checkbox"/>
1	サービス A 1	<input type="checkbox"/>
2	サービス A 2	<input type="checkbox"/>
3	サービス A 3	<input type="checkbox"/>
4	サービス A 4	<input type="checkbox"/>
200	B 拠点	<input type="checkbox"/>
5	サービス B 1	<input type="checkbox"/>
6	サービス B 2	<input type="checkbox"/>
300	C 拠点	<input type="checkbox"/>
7	サービス C 1	<input type="checkbox"/>
8	サービス C 2	<input type="checkbox"/>
9	サービス C 3	<input type="checkbox"/>

《部門元帳》

* 総合計部門にチェックを付けて出力した場合

・ 総合計部門に属するすべての明細部門の仕訳金額を出力します。

部門元帳					
社会福祉法人 ICS福祉会					
法人番号 [9999] 総合計					
科目 (0401) 施介護報酬収益					
No. 1					
2年 月日	(相手科目名)	摘要	借方金額	貸方金額	差引残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の仕訳です 権		100,000	
	普通預金 2	部門0002(サービスA2)の仕訳です 権		10,000	
	普通預金 3	部門0003(サービスA3)の仕訳です 権		1,000	
	普通預金 4	部門0004(サービスA4)の仕訳です 権		100	111,100
		※※ 4月計 ※※	0	111,100	111,100
5. 2	普通預金 5	部門0005(サービスB1)の仕訳です 権		200,000	
	普通預金 6	部門0006(サービスB2)の仕訳です 権		20,000	331,100
		※※ 5月計 ※※	0	220,000	331,100
6. 3	普通預金 7	部門0007(サービスC1)の仕訳です 権		300,000	
	普通預金 8	部門0008(サービスC2)の仕訳です 権		30,000	
	普通預金 9	部門0009(サービスC3)の仕訳です 権		3,000	664,100
		※※ 6月計 ※※	0	333,000	664,100
		*****	0	664,100	664,100

* 「100 : A拠点」部門にチェックを付けて出力した場合

・ A拠点部門に属するすべての明細部門の仕訳金額を出力します。

部門元帳					
社会福祉法人 ICS福祉会					
法人番号 [0100] A拠点					
科目 (0401) 施介護報酬収益					
No. 1					
2年 月日	(相手科目名)	摘要	借方金額	貸方金額	差引残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の仕訳です 権		100,000	
	普通預金 2	部門0002(サービスA2)の仕訳です 権		10,000	
	普通預金 3	部門0003(サービスA3)の仕訳です 権		1,000	
	普通預金 4	部門0004(サービスA4)の仕訳です 権		100	111,100
		*****	0	111,100	111,100

* 「1 : サービスA 1」部門にチェックを付けて出力した場合

・ サービスA 1部門の仕訳金額を出力します（従前どおり）。

部門元帳					
社会福祉法人 ICS福祉会					
法人番号 [0001] サービスA 1					
科目 (0401) 施介護報酬収益					
No. 1					
2年 月日	(相手科目名)	摘要	借方金額	貸方金額	差引残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の仕訳です 権		100,000	100,000
		*****	0	100,000	100,000

《部門補助元帳》

* 総合計部門にチェックを付けて出力した場合

- ・ 総合計部門に属するすべての明細部門の仕訳金額を出力します。
- ・ 基本科目の枝番名称は出力しません（枝番コード共通で枝番名称が異なる可能性を考慮）。
- ・ 2段出力形式の場合、相手科目の枝番名称を出力します（従前どおり）。

部門元帳					
社会福祉法人 ICS福祉会 法人番号[9999]総合計			0401 施介護報酬収益 科目(0001)		
			No. 1		
2年 月日	(相手科目名)	備 考	借方金額	貸方金額	差引残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の仕訳です 権 ※※ 4月計 ※※		100,000	100,000
			0	100,000	100,000
5. 2	普通預金 5	部門0005(サービスB1)の仕訳です 権 ※※ 5月計 ※※		200,000	300,000
			0	200,000	300,000
6. 3	普通預金 7	部門0007(サービスC1)の仕訳です 権 ※※ 6月計 ※※		300,000	600,000
			0	300,000	600,000
		*****	0	600,000	600,000

* 「100：A拠点」部門にチェックを付けて出力した場合

- ・ A拠点に属するすべての明細部門の仕訳金額を出力します。
- ・ 基本科目の枝番名称は出力しません（枝番コード共通で枝番名称が異なる可能性を考慮）。
- ・ 2段出力形式の場合、相手科目の枝番名称を出力します（従前どおり）。

部門元帳					
社会福祉法人 ICS福祉会 法人番号[0100]A拠点			0401 施介護報酬収益 科目(0001)		
			No. 1		
2年 月日	(相手科目名)	備 考	借方金額	貸方金額	差引残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の仕訳です 権 *****		100,000	100,000
			0	100,000	100,000

* 「1：サービスA1」部門にチェックを付けて出力した場合

- ・ サービスA1の仕訳金額を出力します。
- ・ 基本科目の枝番名称と2段出力形式の相手科目の枝番名称を出力します（従前どおり）。

部門元帳					
社会福祉法人 ICS福祉会 法人番号[0001]サービスA1			0401 施介護報酬収益 科目(0001) A1の枝番		
			No. 1		
2年 月日	(相手科目名)	備 考	借方金額	貸方金額	差引残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の仕訳です 権 *****		100,000	100,000
			0	100,000	100,000

《部門予算元帳》

* 総合計部門にチェックを付けて出力した場合

- ・ 総合計部門に属するすべての明細部門の仕訳金額と予算金額を出力します。
- ・ どの部門における補正や流用かをわかりやすくするために、補正・流用の文言の先頭に部門コードを表示させるようにしました。

2年		部門元帳		借方金額		貸方金額		差引残高		予算		予算残高	
月	日	(相手科目名)	摘要										
4	1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の徴収 権			100000							
		普通預金 2	部門0002(サービスA2)の徴収 権			10000							
		普通預金 3	部門0003(サービスA3)の徴収 権			1000							
		普通預金 4	部門0004(サービスA4)の徴収 権			100		111100				6529900	
			※※ 4月計 ※※		0	111100		111100			0	6529900	
5	1		(0001 - 施利負担取/公) ~流用								△20000	6509900	
5	1		(0002 - 施利負担取/公) ~流用								△2000	6507900	
5	1		(0003 - 施利負担取/公) ~流用								△200	6507700	
5	1		(0004 - 施利負担取/公) ~流用								△20	6507580	
5	1		(0005 - 施利負担取/公) ~流用								△30000	6477580	
5	1		(0006 - 施利負担取/公) ~流用								△3000	6474580	
5	1		(0007 - 施利負担取/公) ~流用								△40000	6434580	
5	1		(0008 - 施利負担取/公) ~流用								△4000	6430580	
5	1		(0009 - 施利負担取/公) ~流用								△400	6430280	
		普通預金 5	部門0005(サービスB1)の徴収 権			200000							
		普通預金 6	部門0006(サービスB2)の徴収 権			20000		331100				6210280	
5	30		《 0001 - 補正予算 》								200000	6410280	
5	30		《 0002 - 補正予算 》								20000	6430280	
5	30		《 0003 - 補正予算 》								2000	6432280	
5	30		《 0004 - 補正予算 》								200	6432480	
5	30		《 0005 - 補正予算 》								300000	6732480	
5	30		《 0006 - 補正予算 》								30000	6762480	
5	30		《 0007 - 補正予算 》								400000	7162480	
5	30		《 0008 - 補正予算 》								40000	7202480	
5	30		《 0009 - 補正予算 》								4000	7206480	
			※※ 5月計 ※※		0	220000		331100			596580	7206480	
6	1	普通預金 7	部門0007(サービスC1)の徴収 権			300000							
		普通預金 8	部門0008(サービスC2)の徴収 権			30000							
		普通預金 9	部門0009(サービスC3)の徴収 権			3000		664100				6673480	
			※※ 6月計 ※※		0	333000		664100			0	6673480	
			翌月への繰越		0	664100		664100			596580	6673480	

* 「100：A拠点」部門にチェックを付けて出力した場合

- ・ A拠点に属するすべての明細部門の仕訳金額と予算金額を出力します。
- ・ どの部門における補正や流用かをわかりやすくするために、補正・流用の文言の先頭に部門コードを表示させるようにしました。

部門元帳

社会福祉法人 ICS福祉会
法人番号[0100]A拠点

科目(0401) 施介護報酬収入

税引	税込	税抜	標準	決算	修正
					*

No. 1

当初予算 1,111,000

2年 月日	(相手科目名)	摘要	借方金額	貸方金額	差引残高	予算	予算残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の稼計 権		100000			
	普通預金 2	部門0002(サービスA2)の稼計 権		10000			
	普通預金 3	部門0003(サービスA3)の稼計 権		1000			
	普通預金 4	部門0004(サービスA4)の稼計 権		100	111100		999900
		※※ 4月計 ※※	0	111100	111100	0	999900
5. 1		(0001 - 施利負担取/公) へ流用				△20000	979900
5. 1		(0002 - 施利負担取/公) へ流用				△2000	977900
5. 1		(0003 - 施利負担取/公) へ流用				△200	977700
5. 1		(0004 - 施利負担取/公) へ流用				△20	977680
5. 30		《 0001 - 補正予算 》				200000	1177680
5. 30		《 0002 - 補正予算 》				20000	1197680
5. 30		《 0003 - 補正予算 》				2000	1199680
5. 30		《 0004 - 補正予算 》				200	1199880
		※※ 5月計 ※※	0	0	111100	199880	1199880
		翌月への繰越	0	111100	111100	199880	1199880

- * 「1：サービスA1」部門にチェックを付けて出力した場合
 - ・ サービスA1の仕訳金額と予算金額を出力します。
 - ・ 補正・流用の文言には部門コードを表示しません（従前どおり）。

部門元帳

社会福祉法人 ICS福祉会
法人番号[0001]サービスA1

科目(0401) 施介護報酬収入

税引	税込	税抜	標準	決算	修正
					*

No. 1

当初予算 1,000,000

2年 月日	(相手科目名)	摘要	借方金額	貸方金額	差引残高	予算	予算残高
4. 1	普通預金 1	部門0001(サービスA1)の稼計 権		100000	100000		900000
		※※ 4月計 ※※	0	100000	100000	0	900000
5. 1		(施利負担取/公) へ流用				△20000	880000
5. 30		《 補正予算 》				200000	1080000
		※※ 5月計 ※※	0	0	100000	180000	1080000
		翌月への繰越	0	100000	100000	180000	1080000

- * 摘要欄に表示する補正や流用の文言の大きさについてバランスを整えました。

(2) ページ No. 連番出力時のページカウントを変更しました。

本改良は社会福祉法人 db のみの対応です。他業種は従前の内容を変更していません。

- * 「ページ No. 連番出力=ON」で部門元帳を出力した場合、従前プログラムではすべての部門で通しのページ数とし、そのうち何ページ目であるかを出力していました。対応プログラムは指定した部門の最初のページを必ず1ページ目としてカウントします。
- * 科目や枝番をさらに指定している場合は、指定部門の範囲をベースにそのうちの何ページ目であるかを出力します。次に例示します。

例、合計部門 10 に明細部門 1～3 があり、それぞれ下記の仕訳が 1 本ずつある場合

[普通預金 1 施介護報酬収益]

[普通預金 2 施利負担益/公]

[普通預金 3 施利負担益/一]

- ・合計部門 10 を指定して全科目出力するとNo.1～6 となります。
- ・部門 1～3 を指定して全科目出力するとNo.1～18 となります(従前どおり)。
- ・部門 2 を指定して全科目出力するとNo.1～6 となります(従前はNo.7～12)。
- ・部門 2、3 で普通預金 2 のみ指定するとNo.2, 8 となります(従前はNo.8, 14)。
- ・部門 3 で普通預金 3 と施利負担益/一を指定するとNo.3, 6 となります(従前はNo.15, 18)。

②出力部門指定の変更に伴い、ダブルクリックによる部門ツリー展開動作を無効にしました。

展開する場合は、+マークをクリックしてください。

また、元帳だけではなく部門指定のあるすべての出力業務に対応を行いました。

【補 足】

- ※明細部門に同一日付のデータが複数ある場合、仕訳データは入力順に、補正予算及び予算流用データは部門コードの昇順(予算登録の部門の並び順)で合計部門元帳を出力します。
- ※F7 出力書式の【伝票/部門 No.出力】を「部門 No を出力(当該科目)」に設定しているとき、摘要欄には基本科目側の部門コードを出力しますが、合計部門元帳では合計部門のコードを表示します。仕訳行が複数あるとわかりにくいので、その場合は『部門 No を出力(相手科目)』へ変更し、明細部門を摘要欄に出力いただくことで対処ください。
- ※合計部門元帳では“全部門出力”という概念がありません。部門の仕訳データがすべて出力される合計部門元帳と、個別の部門元帳を一度に出力することはないと想定するため、ページNo.が連番の場合は指定部門の範囲内でカウントするようにしました。また、頁の指定を書込保存している場合は再指定をお願いいたします。
- ※合計転記設定を「科目設定・残高登録」業務で行う場合、明細部門のみ有効となります。合計部門で設定を有効にするには業務内の F8 合計転記を行ってください。
- ※配賦処理で仕訳データに合計部門を入力している場合は集計対象外です。

③予算元帳の修正

- ・予備費流用額の日付が常に 4 月 1 日となっていたのを、「資金科目・予算・予備費関係登録」業務で登録された予備費流用実施日を出力するようにしました。

2) 比較・推移表

①推移表

- ・「3-4 期間貸借推移表」「3-5 期間収支推移表」を出力する際、“決算月”の金額に“決修月”の金額を含めて表示していたので、“決算月”と“決修月”の金額にわけて表示できるように「決修月を単独表示する」にチェックを付けれるように改良しました。

決修月を単独表示する

仕訳未入力月空欄出力

- ※「3-4 期間収支推移表」は「決修月を単独表示する」にチェックを付けると、帳票右端の「対収入費」欄は出力できません。

II. 決算

1) 勘定科目内訳書

- データインポート・エクスポートについて、平成 31 年 4 月 1 日終了事業年度分（記載内容の簡素化）の様式に対応しました。（以下、新様式／旧様式と記します。）

【エクスポート】

- ・新様式マスターの場合、項目名を変更及び扶養項目を削除して、様式と同じ項目でファイルを作成します。
※旧様式マスターの場合は変更ありません。
- ・新様式マスターでの CSV の変更内容は以下の通りです。（一部改正以外の変更も含まれています。）
※以下の説明のアルファベットは、CSV ファイルを Excel で開いたときの列を表しています。

①預貯金等の内訳書 [IcsUc011.csv]

- ・変更なし（旧様式と同じ）

②受取手形の内訳書 [IcsUc021.csv]

- ・ G 列の項目名を変更「支払銀行名」→「支払銀行名称」
- ・ H 列の項目名を変更「支店名」→「支払銀行支店名」
- ・ J 列の項目名を変更「割引銀行名」→「割引銀行名及び支店名等 1」
- ・ K 列の項目名を変更「支店名」→「割引銀行名及び支店名等 2」

③売掛金（未収入金）の内訳書 [IcsUc031.csv]

- ・変更なし（旧様式と同じ）

④-1 仮払金（前渡金）の内訳書 [IcsUc041.csv]

- ・ I 列の項目名を変更「取引の内容 1」→「摘要 1」
- ・ J 列の項目名を変更「取引の内容 2」→「摘要 2」

④-2 貸付金及び受取利息の内訳書 [IcsUc042.csv]

- ・ B 列の項目名を変更「貸付先 1」→「貸付先名称（氏名）1」
- ・ C 列の項目名を変更「貸付先 2」→「貸付先名称（氏名）2」
- ・ D 列の項目名を変更「所在地（住所）1」→「貸付先所在地（住所）2」
- ・ E 列の項目名を変更「所在地（住所）2」→「貸付先所在地（住所）2」
- ・ 旧様式の J 列を削除「貸付理由 1」
- ・ 旧様式の K 列を削除「貸付理由 2」

⑤棚卸資産（商品又は製品、半製品、仕掛品、原材料、貯蔵品）の内訳書 [IcsUc051.csv]

- ・ [欄外]を削除「棚卸方法登録」

⑥有価証券の内訳書 [IcsUc031.csv]

- ・ C 列の項目名を変更「種類・銘柄 1」→「種類」
- ・ D 列の項目名を変更「種類・銘柄 2」→「銘柄」

⑦固定資産（土地、土地の上に存する権利及び建物に限る。）の内訳書 [IcsUc071.csv]

- ・変更なし（旧様式と同じ）

⑧支払手形の内訳書 [IcsUc081.csv]

- ・ F 列の項目名を変更「支払銀行名」→「支払銀行名称」
- ・ G 列の項目名を変更「支店名」→「支払銀行支店名」

⑨買掛金（未払金・未払費用）の内訳書 [IcsUc091.csv]

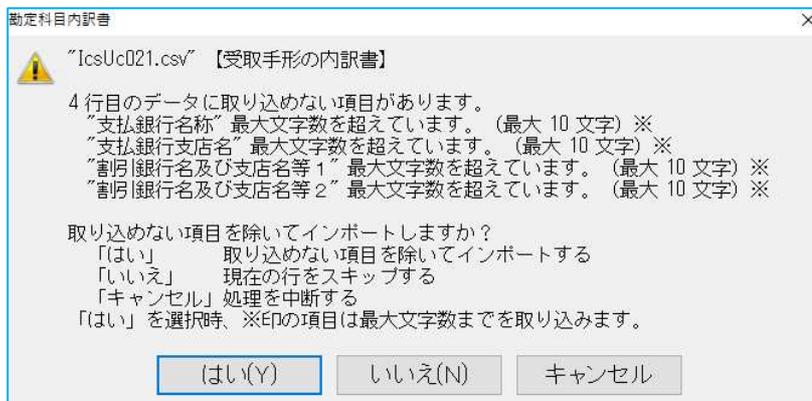
- ・変更なし（旧様式と同じ）

- ⑩-1 仮受金（前受金・預り金）の内訳書 [IcsUc101.csv]
- ・ I 列の項目名を変更「取引の内容 1」→「摘要 1」
 - ・ J 列の項目名を変更「取引の内容 2」→「摘要 2」
- ⑩-2 源泉所得税預り金の内訳書 [IcsUc102.csv]
- ・ 変更なし（旧様式と同じ）
- ⑪ 借入金及び支払利子の内訳書 [IcsUc111.csv]
- ・ C 列の項目名を変更「借入先 1」→「借入先名称（氏名） 1」
 - ・ D 列の項目名を変更「借入先 2」→「借入先名称（氏名） 2」
 - ・ E 列の項目名を変更「所在地（住所） 1」→「借入先所在地（住所） 1」
 - ・ F 列の項目名を変更「所在地（住所） 2」→「借入先所在地（住所） 2」
 - ・ 旧様式の K 列を削除「借入理由 1」
 - ・ 旧様式の L 列を削除「借入理由 2」
- ⑫ 土地の売上高等の内訳書 [IcsUc121.csv]
- ・ H 列の項目名を変更「売上（仲介）先氏名（名称）」→「売上（仲介）先名称（氏名）」
 - ・ I 列の項目名を変更「売上（仲介）先住所（所在地） 1」→「売上（仲介）先所在地（住所） 1」
 - ・ J 列の項目名を変更「売上（仲介）先住所（所在地） 2」→「売上（仲介）先所在地（住所） 2」
- ※上記 3 列の項目名は新様式／旧様式ともに変更しています。
- ⑬ 売上高等の事業所別内訳書 [IcsUc131.csv]
- ・ M 列の項目名を変更「期末従業員数」→「期末従業員数」
- ※M 列の項目名は新様式／旧様式ともに変更しています。
- ・ 旧様式の N 列を削除「使用建物の延面積」
- ⑭-1 役員報酬手当等及び人件費の内訳書 [IcsUc141.csv]
- ・ M 列の項目名を変更「利益連動給与」→「業績連動給与」
- ⑭-2 人件費の内訳書 [IcsUc142.csv]
- ・ 変更なし（旧様式と同じ）
- ⑮-1 地代家賃等の内訳書 [IcsUc151.csv]
- ・ 変更なし（旧様式と同じ）
- ⑮-2 権利金等の期中支払の内訳書 [IcsUc152.csv]
- ・ 変更なし（旧様式と同じ）
- ⑮-3 工業所有権等の使用料の内訳書 [IcsUc153.csv]
- ・ 変更なし（旧様式と同じ）
- ⑯-1 雑益、雑損失等の内訳書 [IcsUc161.csv]
- ・ E 列の項目名を変更「相手先 1」→「相手先名称（氏名） 1」
 - ・ F 列の項目名を変更「相手先 2」→「相手先名称（氏名） 2」
 - ・ G 列の項目名を変更「所在地（住所） 1」→「相手先所在地（住所） 1」
 - ・ H 列の項目名を変更「所在地（住所） 2」→「相手先所在地（住所） 2」
- ⑯-2 雑損失等の内訳書 [IcsUc162.csv]
- ・ E 列の項目名を変更「相手先 1」→「相手先名称（氏名） 1」
 - ・ F 列の項目名を変更「相手先 2」→「相手先名称（氏名） 2」
 - ・ G 列の項目名を変更「所在地（住所） 1」→「相手先所在地（住所） 1」
 - ・ H 列の項目名を変更「所在地（住所） 2」→「相手先所在地（住所） 2」

【インポート】

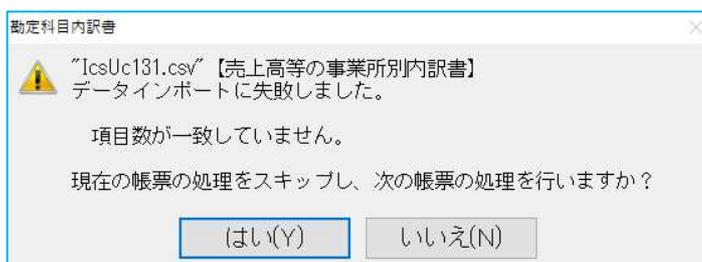
◆新様式マスターの場合

- ・ CSV ファイルの項目が新様式／旧様式どちらのタイプのファイルでも取込可能です。
- ・ 旧様式タイプのファイルのうち、新様式で記載不要となった項目がある様式（④-2、⑪、⑬）では、従来通り扶養項目を飛ばして取り込みます。
- ・ 項目名の変更に伴い、取り込めない項目がある際のメッセージの項目名も変更しています。



◆旧様式マスターの場合

- ・ 新様式の（④-2、⑪、⑬）以外は、新様式／旧様式のどちらのタイプの CSV ファイルでも取込可能です。
- ・ 新様式の（④-2、⑪、⑬）は取込不可のため、下記のメッセージが表示されて、次の帳票の処理へ進むか、処理を中断するかを選択が可能です。



以上